

## 第 10 回中海自然再生協議会議事録

日時 平成 21 年 1 月 31 日 (土) 13:30~17:00

場所 米子ふれあいの里 大ホール

「第 1 回中海自然再生フォーラム」として中海自然再生協議会が主催して、以下のプログラムで行なわれた。

- 13:30~14:30 基調講演「中海の自然再生をめざして一地域を元気にするために」  
高安克己(中海自然再生協議会会長、島根大学副学長)
- 14:30~15:00 中海自然再生全体構想について 国井秀伸 (全体構想検討部会長、  
島根大学汽水域研究センター教授、)
- 15:10~16:10 中海の自然再生へ向けた取り組み 中海水鳥交流基金 (山根一郎  
事務局長)、中海再生プロジェクト (上田和泉事務局)、未来もりネ  
ットワーク (奥森隆夫代表)、自然再生センター飯梨川流域部会 (木  
村好勝部会長)、自然再生センター崎津部会 (渡部敏樹部会長)
- 16:10~16:50 総合討論 自然再生協議会の今後の進め方など

この催しは「中海自然再生全体構想」が昨年 11 月に中海自然再生協議会において採択され中海の自然再生に向けた基本方針が定められたことから、今後の実施計画の作成が始まることになり、それに向けて広く一般の方々にも呼びかけて中海自然再生全体構想の紹介と、これからの中海の自然再生に向けた取り組みを語り合う会として計画された。基調講演では高安克己会長から世界の水問題についての最近の情勢と日本の役割、また、山陰地域が日本の水問題では中心的な存在になりうること、その中で中海の果たす役割が大きいことなどが紹介された。全体構想については完成したパンフレットが配布され、完成までの経緯をふくめて国井秀伸全体構想部会長から報告、その後、中海で活動している機関・団体から 5 つの報告 (中海水鳥交流基金、中海再生プロジェクト、未来もりネットワーク、自然再生センター飯梨川流域部会、自然再生センター崎津部会) があり、その後、中海自然再生協議会の今後の進め方などについての討論が行なわれた。最後に協議会はこれで第一期の役割を終了し、第二期 (2009 年 4 月から 2 年間) の委員の公募が 3 月末日の期限で始まり、行政機関の広報誌および自然再生協議会、NPO 法人自然再生センターのホームページにも掲載されることが紹介され、委員への積極的な応募の呼びかけがなされた。(終了後、米子のル・ポルトで懇親会が開催された。)